

課目名	美容実習		
教員名	川村恵子	実務経験等	美容師及び養成施設において担当する課目の業務に従事した経験が通算4年以上
	竹内浩子		美容師及び養成施設において担当する課目の業務に従事した経験が通算4年以上
	松本冴香		美容師及び養成施設において担当する課目の業務に従事した経験が通算4年以上
教科書	美容実習1 美容技術理論1の教科書 美容師実技試験課題「技術の解説」		
補助教材	プリント、プロジェクター等		
指導目標	1年生はシャンプー・ワインディング・カット・アップ・オールウェーブなどの基本と基礎を履修するとともに国家試験課題の基本的な技術を身に付け衛生の技術についても公衆衛生に資することができるように指導を行う。		
指導学年	1年	指導時数	400
成績評価	期末実技試験の成績と履修態度を総合して評価する		

回数	指導項目	指導内容	教科書、補助教材など
1～30	シャンプー	タオル掛け、クロス掛け、ブラッシング、スキャルプマッサージ、シャンプー。リンス、お客様への声掛けのタイミングと、シャンプーやリンスの手技を行う。シャンプー剤やリンス、コンディショナー、トリートメントの知識を学習する。	美容実習1 美容技術理論1
	用具とシャンプーボールの扱いと実践に使える技術の修得		
31～50	ブロードライスタイリング	シャンプー後のブロードライの際のハンドドライヤーとブラシの扱いなど。	美容実習1 美容技術理論1
	基本的な道具の扱いと基本動作		
51～80	ワインディングオールパーパス	用具の取り扱い。スライスからブロッキングまで。上巻きと下巻きの修得する。課題と構成の確認。全頭を規定通りに仕上げる。	美容実習1 美容技術理論1
	基本的な道具の扱いと基本動作 上巻きと下巻き		
81～90	カット	シザーズとコームの取り扱いとシザーズワークを学習する。ワンレングス、グラデーション、レイヤーカット、応用カットまでを確認する。	美容実習1 美容技術理論1
	基本的な道具の扱いと基本動作 応用カット		
91～250	国家試験デザイン巻き 国家試験課題の規定に沿った作品	美容師実技試験課題「技術の解説」に沿った内容のデザイン巻き課題を作る。	技術の解説
251～300	アップスタイル	道具の名称、使用方法、使用にあたっての注意事項を学ぶ。毛髪の扱い、黒ゴムを使った毛髪の束ね方、ピンの扱いと使用方法など。	美容実習1 美容技術理論1
	基本的な道具の扱いと基本動作 結髪の基本		
301～390	オールウェーブ	ローションの作り方、ピンの準備、保管方法、ウィッグの扱い、手入れなど。ノーパート7段構成の課題を正確に修得する。	技術の解説
	基本的な道具の扱いと基本動作 国家試験オールウェーブ		
391～400	まつげエクステ	まつげエクステンションの基本理論と、基本技術から応用までを修得する。	美容実習1 美容技術理論1
	基本的な道具の扱いと基本動作		

課目名	美容実習		
教員名	川村恵子	実務経験等	美容師及び養成施設において担当する課目の業務に従事した経験が通算4年以上
	竹内浩子		美容師及び養成施設において担当する課目の業務に従事した経験が通算4年以上
	松本冨香		美容師及び養成施設において担当する課目の業務に従事した経験が通算4年以上
教科書	美容実習1 美容技術理論1の教科書 美容師実技試験課題「技術の解説」		
補助教材	プリント、プロジェクター等		
指導目標	2年生はコースごとに各技術や試験を修得しながら、国家試験に向けての技術を完成させる。 衛生の技術についても公衆衛生に資することができるように指導を行う。		
指導学年	2年	指導時数	500
成績評価	期末実技試験の成績と履修態度を総合して評価する		

回数	指導項目	指導内容	教科書、補助教材など
1～10	シャンプー	タオル掛け、クロス掛け、ブラッシング、スキャルブマッサージ、シャンプーリンス、お客様への声掛けのタイミングと、シャンプーやリンスの手技を行う。シャンプー剤やリンス、コンディショナー、トリートメントの知識を学習する。	美容実習1 美容技術理論1
	用具とシャンプーボールの扱いと実践に使える技術の修得		
11～20	ブロードライスタイリング	シャンプー後のブロードライの際のハンドドライヤーとブラシの扱いなど。	美容実習1 美容技術理論1
	基本的な道具の扱いと基本動作		
21～250	国家試験デザイン巻き	美容師実技試験課題「技術の解説」に沿った内容のデザイン巻き課題を作る。 国家試験合格レベルになるよう指導する。	技術の解説 プリント
	国家試験課題の規定に沿った作品		
251～400	オールウェーブ	美容師実技試験課題「技術の解説」に沿った内容のオールウェーブ課題を作る。 国家試験合格レベルになるよう指導する。	技術の解説 プリント
	国家試験課題の規定に沿った作品		
400～500	国家試験レイヤーカット	美容師実技試験課題「技術の解説」に沿った内容のレイヤーカット課題を作る。 国家試験合格レベルになるよう指導する。	技術の解説 プリント
	国家試験課題の規定に沿った作品		

課目名	美容技術理論		
教員名	川口和子	実務経験等	美容師及び養成施設において担当する課目の業務に従事した経験が通算4年以上
教科書	「美容実習①」「美容技術理論①」(公益社団法人 日本理容美容教育センター)		
補助教材	各種プリント、プロジェクターによる画像、ウィッグや展示物による実技の展示など。		
指導目標	美容技術についての基礎知識を学び、理解を深め、美容実習につなげていく。		
指導学年	1年	指導時数	60
成績評価	期末筆記試験の成績と履修態度などを総合して評価する。		

回	指導項目	指導内容	教材のページ
		美容技術理論 1	
		序章 美容技術理論を学ぶにあたって	
1-3	作業姿勢、人体各部の名称	安定した作業姿勢、人体各部の名称、顔部・頭部・手・指など	7～14
		1章 美容用具	
4-9	美容用具	コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ヘアアイロン、ドライヤー、機器など	16～35
		2章 シャンプーイング	
10-14	シャンプーイング	総論・目的・メカニズム・成分・種類・注意事項・ブラッシング	36～44
15-16	サイドシャンプー	ファースト・セカンドシャンプー・手指の動き・シャワーヘッドの使い方	45～47
17	バックシャンプー	ファースト・セカンドシャンプー・手指の動き・シャワーヘッドの使い方	48～51
18-19	リンス、コンディショナー	役割、違い、成分、種類、各技術	52～57
20	スカルプトリートメント	目的、要素、種類、頭皮のトラブル、育毛剤、マッサージ手順	58～64
21	ヘッドスパ	プロセス、マッサージ技術	65
		3章 ヘアデザイン	
22	錯覚現象	様々な錯視現象	69～72
23	デザインの要素	点、線、面、形、大きさ、テクスチャーなど	73～79
25	デザインの原理	群化の法則、方向、比率、シンメトリー、バランス、調和、リズム	80～88
		4章 ヘアカットイング	
24	ヘアカットイング	シザーズとレザーの扱い方、正しい姿勢、ブロッキング、基礎理論	90～102
25	ベーシックなカット技法	ワンレングス、グラデーション、レイヤー、セიმレングス、	103～107
26-29	シザーズによるカット技法	ブラント、ストローク、セニング、ポインティング、スライド、トリミング	108～120
30	レザーによるカット技法	テーパー、セニング、ポインティング、	121～128
		5章 パーマネントウェーピング	
31-33	パーマネントウェーピング	歴史、理論、分類、注意事項	130～140
34-36	パーマネントウェーピング	技術	141～148
37	パーマネントウェーピング	縮毛矯正	149～150
		6章 ヘアセッティング	
38-40	ヘアセッティング	ヘアパーティング、ヘアシェーピング、ヘアカーリング	152～173
41-45	ヘアセッティング	ヘアウェーピング	174～186
45-48	ヘアセッティング	ローラーカーリング	187～191
49-50	ヘアセッティング	ブロードライ	192～198
51	ヘアセッティング	アイロンセッティング	199～203
52	ヘアセッティング	バックコーミング	204～206
53	ヘアセッティング	アップスタイル	206～211
54	ヘアセッティング	ウィッグとヘアピース、応用	212～220
		7章 ヘアカラーリング	

55-57	ヘアカラーリング	種類、特徴、染毛のメカニズム、色の基本、	2 2 2～2 3 1
58-60	ヘアカラーリング	アンダートーン、パッチテスト、注意事項	2 3 2～2 4 4

令和8年度シラバス タカヤマアドバンスビューティー専門学校 美容科

課目名	美容技術理論		
教員名	竹内浩子	実務経験等	美容師及び養成施設において担当する課目の業務に従事した経験が通算4年以上
教科書	「美容技術理論①」「美容技術理論②」「ワークブック」(公益社団法人 日本理容美容教育センター)		
補助教材	各種プリント、プロジェクターによる画像、ウィッグや展示物による実技の展示など。		
指導目標	美容技術についての基礎知識を学び、理解を深め、美容実習につなげていく。		
指導学年	2年	指導時数	90
成績評価	期末筆記試験の成績と履修態度などを総合して評価する。		

回	指導項目	指導内容	教材のページ
		美容技術理論2	
		8章 エステティック	
1-.2	エステティック	エステティック概論 皮膚の整理と構造 カウンセリング	5～17
3-.5	エステティック	美容におけるマッサージ理論 フェイシャル ボディ	18～36
		9章 ネイル技術	
6-.7	ネイル技術	ネイル技術概論 ネイル技術の種類 爪の構造と機能 爪のカット形状	37～44
8	ネイル技術	ネイル技術と公衆衛生 カウンセリング	44～48
9-.10	ネイル技術	ネイルケア	48～56
11-.12	ネイル技術	アーティフィシャルネイル 手と足のマッサージ	56～73
		10章 メイクアップ	
13-15	メイクアップ	メイクアップ概論 皮膚の整理と構造 フェイスプロポーション	76～79
16-18	メイクアップ	色彩について パーソナルカラー 用具の種類と消毒方法	80～90
19-21	メイクアップ	メイクアップ概論 皮膚の整理と構造 フェイスプロポーション	91～103
22	メイクアップ	ブライダルメイクアップ 肌質別修正メイクアップ一覧表	104～107
23-25	メイクアップ	まつ毛エクステンション 衛生、保健、道具、	108～112
	メイクアップ	カウンセリング、注意事項	113～115
		11章 日本髪	
26	日本髪	日本髪の由来 各部の名称 種類と特徴	119～121
27-28	日本髪	日本髪と調和 装飾品 結髪道具	122～126
29-30	日本髪	日本髪の結髪技術 日本髪の手入れ かつら	127～139
		12章 着付けの理論と技術	
31-33	着付けの理論と技術	着付けの目的 礼装 着物と季節	142～147
34	着付けの理論と技術	着物のいろいろ	148～151
35	着付けの理論と技術	帯 小物	152～155
36	着付けの理論と技術	着物各部の名称 着物のたたみ方	156～159
37-38	着付けの理論と技術	着付けの一般的要領 留袖着付け技術	160～163
39-40	着付けの理論と技術	振袖着付け技術 帯締め、帯揚げの結び方	164～169
41-42	着付けの理論と技術	男子礼装羽織、袴着付け技術 羽織のひもの結び方	169～174
43-44	着付けの理論と技術	女子袴着付け技術	174～176
45-46	着付けの理論と技術	婚礼着付けの際の注意事項 和装花嫁	176～181

47-48	着付けの理論と技術	洋装花嫁（ウエディングドレスの知識）	182～186
49-75	美容技術理論1の復習	美容技術理論1 ワークブック	7～244
76-80	美容技術理論2の復習	美容技術理論2 ワークブック	5～186
81-90	総まとめ復習	美容技術理論1.2 ワークブック	全ページ

課目名	エステティック実習		時間数	180	授業形態	実習
教員名	高山 孝子・大河原和子	実務経験等	養成施設において担当する科目の業務に従事した経験が通算4年以上			
教員名	篠原 優美・仁藤 見菜代	実務経験等	養成施設において担当する科目の業務に従事した経験が通算4年以上			
教科書	新エステティック学-技術編					
補助教材	プリント・プロジェクター・DVDなど					
指導目標	1年生は、まず自分自身の身嗜みを整えることから始まり、お客様をベッドに誘導する所作からターバンの巻き方などリネン類の適切な扱い方を習得し、技術者とおお客様の適切な距離感、基本手技を学び認定エステティシャンを目指す。 フェイシャルではクレンジング・拭き取り・カウンセリング・ディープクレンジング・マッサージ・マスク、ボディでは前操作から下肢・腰背部・腹部・上肢のマッサージの基本手技を学ぶ。手順だけでなく、手の密着感・リズム・強弱・集中力など相モデルで実習することで、お互いに指摘し合い実践的な授業となる。					
指導学年	1年	時間数	180	単位数	6	
成績評価	期末テスト（実技・筆記）の得点及び履修態度などを総合して評価する					
回数	指導項目	指導内容			教材・補助教材のページなど	
1～30	フェイシャル	エステティシャンの身だしなみを学習する。 ターバン・ベッドメイキング・リネン類の扱い方・お客様の誘導法 ・ポイントメイククレンジング・ベースメイククレンジング・ スポンジ拭き取り・スチームタオルの各手技を学習する。			新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど	
31～60	フェイシャル	ターバン・ベッドメイキング・リネン類の扱い方・お客様の誘導法 ・ポイントメイククレンジング・ベースメイククレンジング・ スポンジ拭き取り・スチームタオルの各手技の徹底。 ディープクレンジング（酵素）・マッサージ基本手技（軽擦法）の徹底			新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど	
61～90	フェイシャル	クレンジング・ディープクレンジング（吸引）・ カウンセリングとカルテ記入方法を学習する。 マッサージ基本手技（軽擦法・強擦法・揉捻法・打法）の徹底。 マスクの塗布方法を学習する。			新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど	
91～120	フェイシャル	クレンジング・ディープクレンジング（ブラシクレンジング）・ カウンセリングとカルテ記入方法を学習する。 マッサージ基本手技（軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法） の徹底。スキタイプ別のマスク選択方法を学習。			新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど	
121～150	フェイシャル	クレンジング・ディープクレンジング（電気洗浄）・ カウンセリングとカルテ記入方法を学習する。（肌質・肌悩み分析力） マッサージ基本手技（軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法） の徹底。スキタイプ別のマスク選択方法を学習。			新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど	
151～180	フェイシャル	クレンジング・カウンセリング・カルテ作成 ディープクレンジング・マッサージ基本手技・マスク・仕上げ までの流れを計測し時間内でトリートメントを完成させるようにする。 モデルの肌質を的確に分析し、肌悩みに沿ったトリートメントが できるように徹底する。			新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど	

課目名	エステティック実習		時間数	180	授業形態	実習
教員名	高山 孝子・大河原和子	実務経験等	養成施設において担当する科目の業務に従事した経験が通算4年以上			
教員名	篠原 優美・仁藤 見菜代	実務経験等	養成施設において担当する科目の業務に従事した経験が通算4年以上			
教科書	新エステティック学-技術編					
補助教材	プリント・プロジェクター・DVDなど					
指導目標	<p>2年生では、より実践的にアンチエイジングを目的としたクレンジング法・マッサージ方法・肌悩みに合わせたフェイシャル機器の選択・マスクは肌の部位別に塗り分けし上級エステシアン資格を目指す。</p> <p>カウンセリングは施術前と施術後に設けられ、的確なホームケアアドバイスもお伝えできるようになる。</p> <p>手の密着感・リズム・強弱・集中力など相モデルで実習することで、お互いに指摘し合い実践的な授業となる。</p> <p>3学期には外部モデルに来ていただき数回のトリートメントをして、より実践的な接客マナーを身につける。</p>					
指導学年	2年	時間数	180	単位数	6	
成績評価	期末テスト（実技・筆記）の得点及び履修態度などを総合して評価する					
回数	指導項目	指導内容				教材・補助教材のページなど
1～30	フェイシャル	<p>応用的なクレンジング方法・アンチエイジングに特化したマッサージ方法を学習する。</p> <p>フェイシャル機器（イオン導入）の使用方法・禁忌事項を学ぶ。</p>				<p>新エステティック学 技術編Ⅰ ・DVD プリントなど</p>
31～60	フェイシャル	<p>応用的なクレンジング方法・アンチエイジングに特化した様々な部位にアプローチするマッサージ方法を学ぶ。</p> <p>フェイシャル機器（パター）の使用方法・禁忌事項を学ぶ。</p> <p>より実践的なカウンセリング法とカルテ記入を学ぶ。</p>				<p>新エステティック学 技術編Ⅰ ・DVD プリントなど</p>
61～90	フェイシャル	<p>応用的なクレンジング方法・アンチエイジングに特化した様々な部位にアプローチするマッサージ方法を学ぶ。</p> <p>フェイシャル機器（高周波）の使用方法・禁忌事項を学ぶ。</p> <p>より実践的なカウンセリング法とカルテ記入を徹底する。</p>				<p>新エステティック学 技術編Ⅰ ・DVD プリントなど</p>
91～120	フェイシャル	<p>応用的なクレンジング方法・アンチエイジングに特化した様々な部位にアプローチするマッサージ方法を学ぶ。</p> <p>フェイシャル機器はモデルの肌トラブルに合わせて選択できるようにする。</p> <p>より実践的なカウンセリング法とカルテ記入を徹底する。</p> <p>仕上げにナチュラルメイクをする。</p>				<p>新エステティック学 技術編Ⅰ ・DVD プリントなど</p>
121～150	フェイシャル	<p>応用的なクレンジング方法・アンチエイジングに特化した様々な部位にアプローチするマッサージ方法を学ぶ。</p> <p>フェイシャル機器はモデルの肌トラブルに合わせて選択できるようにする。</p> <p>より実践的なカウンセリング法とカルテ記入を徹底する。</p> <p>アフターカウンセリングとホームケアアドバイスの徹底。</p> <p>仕上げにナチュラルメイクをする。</p>				<p>新エステティック学 技術編Ⅰ ・DVD プリントなど</p>
151～180	フェイシャル	<p>外部モデルさんに来ていただき</p> <p>ビフォーカウンセリング・クレンジング・カルテ作成・フェイシャル機器</p> <p>アンチエイジングマッサージ・マスク・お仕上げ・メイク・</p> <p>アフターカウンセリングとホームケアアドバイスを計測し</p> <p>時間内で外部モデルの肌悩みを解決するトリートメントを行い</p> <p>より実践的な接客マナーを身につける。</p>				<p>新エステティック学 技術編Ⅰ ・DVD プリントなど</p>

課目名	エステティック実習		時間数	180	授業形態	実習
教員名	高山 孝子・大河原和子	実務経験等	養成施設において担当する科目の業務に従事した経験が通算4年以上			
教員名	篠原 優美・仁藤 見菜代	実務経験等	養成施設において担当する科目の業務に従事した経験が通算4年以上			
教科書	新エステティック学-技術編					
補助教材	プリント・プロジェクター・DVDなど					
指導目標	1年生は、まず自分自身の身嗜みを整えることから始まり、お客様をベッドに誘導する所作からターバンの巻き方などリネン類の適切な扱い方を習得し、技術者とお客様の適切な距離感、基本手技を学び認定エステティシャンを目指す。 フェイシャルではクレンジング・拭き取り・カウンセリング・ディープクレンジング・マッサージ・マスク、ボディでは前操作から下肢・腰背部・腹部・上肢のマッサージの基本手技を学ぶ。手順だけでなく、手の密着感・リズム・強弱・集中力など相モデルで実習することで、お互いに指摘し合い実践的な授業となる。					
指導学年	1年	時間数	180	単位数	6	
成績評価	期末テスト（実技・筆記）の得点及び履修態度などを総合して評価する					
回数	指導項目	指導内容			教材・補助教材のページなど	
1～30	ボディ	エステティシャンの身だしなみを学習する。 ターバン・ベッドメイキング・リネン類の扱い方・お客様の誘導法 前操作・下肢の基本手技マッサージの学習。			新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど	
31～60	ボディ	ターバン・ベッドメイキング・リネン類の扱い方・お客様の誘導法 前操作・下肢・腰背部の基本手技マッサージの学習。 下肢の筋肉を覚える。ワックス脱毛を学習する。			新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど	
61～90	ボディ	ターバン・ベッドメイキング・リネン類の扱い方・お客様の誘導法 上肢・腹部・肩回りの基本手技マッサージの学習。 背面の筋肉を覚える。ワックス脱毛を学習する。 カウンセリング・カルテ作成・運動法などを学習する。			新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど	
91～120	ボディ	前操作・下肢・腰背部・上肢・肩回り・腹部の基本手技マッサージの徹底 全身の筋肉を覚える。ワックス脱毛を学習する。 カウンセリング・カルテ作成・運動法などを徹底する。			新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど	
121～150	ボディ	前操作・下肢・腰背部・上肢・肩回り・腹部の基本手技マッサージの徹底 全身の筋肉を覚える。ワックス脱毛を学習する。 カウンセリング・カルテ作成・運動法などを徹底する。 口頭試問・ホームケアアドバイスの練習をする。			新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど	
151～180	ボディ	カウンセリング・カルテ作成・全身マッサージ・ ホームケアアドバイス・ワックス脱毛 までの流れを計測し時間内でトリートメントを完成させるようにする。 モデルの身体の癖を的確に分析し、身体悩みに沿ったトリートメントができるように徹底する。			新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど	

課目名	エステティック実習		時間数	180	授業形態	実習
教員名	高山 孝子・大河原和子	実務経験等	養成施設において担当する科目の業務に従事した経験が通算4年以上			
教員名	篠原 優美・仁藤 見菜代	実務経験等	養成施設において担当する科目の業務に従事した経験が通算4年以上			
教科書	新エステティック学-技術編					
補助教材	プリント・プロジェクター・DVDなど					
指導目標	<p>2年生では、より実践的にお客様の悩みに合わせた応用的なマッサージ法・ボディ機器の選択ができるようになり上級エステティシャン資格を目指す。</p> <p>カウンセリングは施術前と施術後に設けられ、的確なホームケアアドバイスもお伝えできるようになる。</p> <p>手の密着感・リズム・強弱・集中力など相モデルで実習することで、お互いに指摘し合い実践的な授業となる。</p> <p>3学期には外部モデルに来ていただき数回のトリートメントをして、より実践的な接客マナーを身につける。</p>					
指導学年	2年	時間数	180	単位数	6	
成績評価	期末テスト（実技・筆記）の得点及び履修態度などを総合して評価する					
回数	指導項目	指導内容				教材・補助教材のページなど
1～30	ボディ	お客様への流れ・深層筋の把握・タオルワークの応用・ 応用マッサージ（腰背部・下肢後面・下肢前面・デコルテ）などの 一つ一つの手技を確認し徹底する。				新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど
31～60	ボディ	ボディ機器（バイブレーション・サクション・低周波）の使い方 禁忌事項の確認と徹底。 ワックス脱毛の復習をする。				新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど
61～90	ボディ	ボディ機器（バイブレーション・サクション・低周波）の使い方 禁忌事項の確認と徹底。 全身応用マッサージの徹底。 足つぼマッサージ。				新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど
91～120	ボディ	問診・採寸・カルテ作成の学習をする。 お悩みに合わせたボディ機器の選択とマッサージの選択方法を学ぶ。				新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど
121～150	ボディ	コンサルテーション（問診・採寸・カルテ作成・運動のアドバイス） お悩みに合わせたボディ機器の選択とマッサージの選択方法を学ぶ。 アフターカウンセリングとホームケアアドバイスの徹底。				新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど
151～180	ボディ	外部モデルさんに来ていただき コンサルテーション（問診・採寸・カルテ作成・運動のアドバイス） お悩みに合わせたボディ機器の選択とマッサージを施術する。 ワックス脱毛も実施する。 ホームケアアドバイス・運動法などもお伝えする。 時間配分・立ち振る舞い・気遣いに配慮したトリートメントを徹底。				新エステティック学 技術編Ⅰ・DVD プリントなど

令和8年度シラバス タカヤマアドバンスビューティ専門学校

ベーシックビューティ科

課目名	美容実習		
教員名	松本冨香	実務経験等	美容師及び養成施設において担当する課目の業務に従事した経験が通算4年以上
教科書	美容実習 1		
補助教材	プリント、プロジェクター等		
指導目標	1年生はまずシャンプー・ワインディング・カット・アップスタイルなどの基本と基礎を履修する		
指導学年	1年	指導時数	93時間
成績評価	期末実技試験の成績と履修態度を総合して評価する		

回数	指導項目	指導内容	教科書、補助教材など
1～30	シャンプー	タオル掛け、クロス掛け、ブラッシング、スキャルプマッサージ、シャンプー。リンス、お客様への声掛けのタイミングと、シャンプーやリンスの手技を行う。シャンプー剤やリンス、コンディショナー、トリートメントの知識を学習する。	美容実習 1 プリントなど
	用具とシャンプーボールの扱いと実践に使える技術の修得		
31～40	ブロードライスタイリング	シャンプー後のブロードライの際のハンドドライヤーとブラシの扱いなど。	美容実習 1 プリントなど
	基本的な道具の扱いと基本動作		
41～50	ワインディングオールパーパス	用具の取り扱い。スライスからブロックまで。上巻きと下巻きの修得する。課題と構成の確認。全頭を規定通りに仕上げる。	美容実習 1 プリントなど
	基本的な道具の扱いと基本動作 上巻きと下巻き		
51～70	カット	シザーズとコームの取り扱いとシザーズワークを学習する。ワンレングス、グラデーション、レイヤーカット、応用カットまでを確認する。	美容実習 1 プリントなど
	基本的な道具の扱いと基本動作 応用カット		
71～93	アップスタイル	道具の名称、使用方法、使用にあたっての注意事項を学ぶ。毛髪の扱い、黒ゴムを使った毛髪の束ね方、ピンの扱いと毛髪の扱い、黒ゴムを使った毛髪の束ね方、ピンの扱いと使用方法など。	美容実習 1 プリントなど
	基本的な道具の扱いと基本動作 結髪の基本		

令和8年度シラバス タカヤマアドバンスビューティ専門学校

ベーシックビューティ科

課目名	美容実習		
教員名	松本冴香	実務経験等	美容師及び養成施設において担当する課目の業務に従事した経験が通算4年以上
教科書	「美容実習①」		
補助教材	プリント、プロジェクター等		
指導目標	2年生は1年次の履修科目を再度履修することで技術を定着させる		
指導学年	2年	指導時数	87時間
成績評価	期末実技試験の成績と履修態度を総合して評価する		

回数	指導項目	指導内容	教科書、補助教材など
1～30	シャンプー	タオル掛け、クロス掛け、ブラッシング、スキャルブマッサージ、シャンプー。リンス、お客様への声掛けのタイミングと、シャンプーやリンスの手技を行う。シャンプー剤やリンス、コンディショナー、トリートメントの知識を学習する。	美容実習 1
	用具とシャンプーボールの扱いと実践に使える技術の修得		
31～40	ブロードライスタイリング	シャンプー後のブロードライの際のハンドドライヤーとブラシの扱いなど。	美容実習 1
	基本的な道具の扱いと基本動作		
41～50	ワインディングオールパーパス	用具の取り扱い。スライスからブロックまで。上巻きと下巻きの修得する。課題と構成の確認。全頭を規定通りに仕上げる。	美容実習 1
	基本的な道具の扱いと基本動作 上巻きと下巻き		
51～70	カット	シザーズとコームの取り扱いとシザーズワークを学習する。ワンレングス、グラデーション、レイヤーカット、応用カットまでを確認する。	美容実習 1
	基本的な道具の扱いと基本動作 応用カット		
71～87	アップスタイル	道具の名称、使用方法、使用にあたっての注意事項を学ぶ。毛髪の扱い、黒ゴムを使った毛髪の束ね方、ピンの扱いと毛髪の扱い、黒ゴムを使った毛髪の束ね方、ピンの扱いと使用方法など。	美容実習 1
	基本的な道具の扱いと基本動作 結髪の基本		

令和8年度シラバス タカヤマアドバンスビューティー専門学校

ベーシックビューティ科

課目名	美容技術理論		
教員名	松本 冴香	実務経験等	美容師及び養成施設において担当する課目の業務に従事した経験が通算4年以上
教科書	「美容実習①」		
補助教材	各種プリント、プロジェクターによる画像、ウィッグや展示物による実技の展示など。		
指導目標	美容技術についての基礎知識を学び、理解を深め、美容実習につなげていく。		
指導学年	1年	指導時数	62時間
成績評価	期末筆記試験の成績と履修態度などを総合して評価する。		

回	指導項目	指導内容	教材のページ
		美容技術理論 1	
1~30	序章 美容技術理論を学ぶにあたって		プリントなど
	作業姿勢、人体各部の名称	安定した作業姿勢、人体各部の名称、顔部・頭部・手・指など	
	1章 美容用具		
	美容用具	コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ヘアアイロン、ドライヤー、機器など	
	2章 シャンプーイング		
	シャンプーイング	総論・目的・メカニズム・成分・種類・注意事項・ブラッシング	
	サイドシャンプー	ファースト・セカンドシャンプー・手指の動き・シャワーヘッドの使い方	
	バックシャンプー	ファースト・セカンドシャンプー・手指の動き・シャワーヘッドの使い方	
	リンス、コンディショナー	役割、違い、成分、種類、各技術	
	スカルプトリートメント	目的、要素、種類、頭皮のトラブル、育毛剤、マッサージ手順	
	ヘッドスパ	プロセス、マッサージ技術	
	ヘアカッティング	シザーズとレザーの扱い方、正しい姿勢、ブロッキング、基礎理論	
	ベーシックなカット技法	ワンレングス、グラデーション、レイヤー、セიმレングス、	
シザーズによるカット技法	ブラント、ストローク、セニング、ポインティング、スライド、トリミング		
レザーによるカット技法	テーパー、セニング、ポインティング、		
31~50	5章 パーマネントウェービング		プリントなど
	パーマネントウェービング	歴史、理論、分類、注意事項	
	パーマネントウェービング	技術	
	パーマネントウェービング	縮毛矯正	
	6章 ヘアセッティング		
	ヘアセッティング	ヘアパーティング、ヘアシェーピング、ヘアカーリング	
	ヘアセッティング	ヘアウェービング	
	ヘアセッティング	ローラーカーリング	
	ヘアセッティング	ブロードライ	
	ヘアセッティング	アイロンセッティング	
ヘアセッティング	バックコーミング		
ヘアセッティング	アップスタイル		
ヘアセッティング	ウィッグとヘアピース、応用		
51~62	7章 ヘアカラーリング		プリントなど
	ヘアカラーリング	種類、特徴、染毛のメカニズム、色の基本、	
	ヘアカラーリング	アンダートーン、パッチテスト、注意事項	
	着付けの理論と技術	着付けの目的 礼装 着物と季節	
	着付けの理論と技術	着物のいろいろ	
	着付けの理論と技術	帯 小物	
	着付けの理論と技術	着物各部の名称 着物のたたみ方	
	着付けの理論と技術	着付けの一般的要領 留袖着付け技術	
	着付けの理論と技術	振袖着付け技術 帯締め、帯揚げの結び方	
	着付けの理論と技術	男子礼装羽織、袴着付け技術 羽織のひもの結び方	
	着付けの理論と技術	女子袴着付け技術	
	着付けの理論と技術	婚礼着付けの際の注意事項 和装花嫁	
着付けの理論と技術	洋装花嫁 (ウエディングドレスの知識)		

令和8年度シラバス タカヤマアドバンスビューティー専門学校

ベーシックビューティー科

課目名	美容技術理論		
教員名	松本 冨香	実務経験等	美容師及び養成施設において担当する課目の業務に従事した経験が通算4年以上
教科書	「美容実習①」		
補助教材	各種プリント、プロジェクターによる画像、ウィッグや展示物による実技の展示など。		
指導目標	美容技術についての基礎知識を再度学び、より理解を深める		
指導学年	2年	指導時数	58時間
成績評価	期末筆記試験の成績と履修態度などを総合して評価する。		

回	指導項目	指導内容	教材のページ
		美容技術理論 1	
	序章 美容技術理論を学ぶにあたって		
	作業姿勢、人体各部の名称	安定した作業姿勢、人体各部の名称、顔部・頭部・手・指など	
	1章 美容用具		
	美容用具	コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ヘアアイロン、ドライヤー、機器など	
	2章 シャンプーイング		
	シャンプーイング	総論・目的・メカニズム・成分・種類・注意事項・ブラッシング	
	サイドシャンプー	ファースト・セカンドシャンプー・手指の動き・シャワーヘッドの使い方	
1~30	バックシャンプー	ファースト・セカンドシャンプー・手指の動き・シャワーヘッドの使い方	プリントなど
	リンス、コンディショナー	役割、違い、成分、種類、各技術	
	スカルプトリートメント	目的、要素、種類、頭皮のトラブル、育毛剤、マッサージ手順	
	ヘッドスパ	プロセス、マッサージ技術	
	ヘアカッティング	シザーズとレザーの扱い方、正しい姿勢、ブロッキング、基礎理論	
	ベーシックなカット技法	ワンレングス、グラデーション、レイヤー、セიმレングス、	
	シザーズによるカット技法	プラント、ストローク、セニング、ポインティング、スライド、トリミング	
	レザーによるカット技法	テーパー、セニング、ポインティング、	
	5章 パーマネントウェービング		
	パーマネントウェービング	歴史、理論、分類、注意事項	
	パーマネントウェービング	技術	
	パーマネントウェービング	縮毛矯正	
	6章 ヘアセッティング		
	ヘアセッティング	ヘアパーティング、ヘアシェーピング、ヘアカーリング	
31~50	ヘアセッティング	ヘアウェービング	プリントなど
	ヘアセッティング	ローラーカーリング	
	ヘアセッティング	ブロードライ	
	ヘアセッティング	アイロンセッティング	
	ヘアセッティング	バックコーミング	
	ヘアセッティング	アップスタイル	
	ヘアセッティング	ウィッグとヘアピース、応用	
	7章 ヘアカラーリング		
	ヘアカラーリング	種類、特徴、染毛のメカニズム、色の基本、	
	ヘアカラーリング	アンダートーン、パッチテスト、注意事項	
	着付けの理論と技術	着付けの目的 礼装 着物と季節	
	着付けの理論と技術	着物のいろいろ	
	着付けの理論と技術	帯 小物	
51~58	着付けの理論と技術	着物各部の名称 着物のたたみ方	プリントなど
	着付けの理論と技術	着付けの一般的要領 留袖着付け技術	
	着付けの理論と技術	振袖着付け技術 帯締め、帯揚げの結び方	
	着付けの理論と技術	男子礼装羽織、袴着付け技術 羽織のひもの結び方	
	着付けの理論と技術	女子袴着付け技術	
	着付けの理論と技術	婚礼着付けの際の注意事項 和装花嫁	
	着付けの理論と技術	洋装花嫁 (ウエディングドレスの知識)	